

1. 事業評価説明シート

事業名	街路事業[街路事業費(国補)]	事業箇所	甲府市千塚	地区名	(都)桜井町敷島線(千塚工区)	事業主体	山梨県
-----	-----------------	------	-------	-----	-----------------	------	-----

(1) 事業概要

①課題・背景

(都)桜井町敷島線は、甲府市と甲斐市を結ぶ延長約9.9kmの主要幹線道路である。本路線は緊急輸送道路に指定されており、防災対策として無電柱化を行うことにより、震災時の輸送路を確保するものである。
また、沿道は商業施設やオフィス、住宅などで街並みが形成されており、千塚小学校の通学路になっていることから、安全で快適な道路空間を確保する必要がある。

②整備目標・効果

□主要目標 ○都市災害防止
緊急輸送道路の指定 有(第二次緊急輸送道路)
自動車交通量 14,096台/12h(H27センサス) > 3,428台/12h以上※
他事業との連携 整備済み区間に連続する区間 あり ※評価基準値

□副次目標 ○歩行者等の安全性の確保
歩行者、自転車交通量 916人台/12h(H27センサス) > 93人台/12h以上※
自動車交通量14,096台/12h(H27センサス) > 3,428台/12h(平日)以上※
小中学校からの距離 0km < 概ね1km以内※
現況の歩道幅員 2.5m > 1.4m未満※ ※評価基準値

□副次効果
○ライフラインの強化(電線共同溝による電線、通信回線等の統合整備)
○緊急時の避難・救助機能の確保(緊急輸送道路の整備)
○被災時の被害波及の防止(緊急輸送道路)

(2) 整備内容と整備量

①整備内容

電線共同溝 L=850m(両側L=1,700m)

②着手年度 令和4年度 ③完成見込年度 令和13年度

④総事業費 約950百万円(国費523百万円(5.5/10) 県費427百万円(4.5/10))

⑤年度別の整備内容 (事業費)

令和4年度	設計	20百万円
令和5年度～令和13年度	電線共同溝工事	930百万円

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

⑥既整備内容・期間・事業費

- ・(主)甲府韮崎線(湯村Ⅰ期工区) L=470m H23～R2
- ・(主)甲府韮崎線(湯村Ⅱ期工区) L=380m R1～R10
- ・(都)桜井町敷島線(島上条Ⅰ期工区) L=380m R4～R10
- ・(都)桜井町敷島線(島上条Ⅱ期工区) L=600m R4～R13
- ・(都)滝坂下今井線(電共Ⅰ期工区) L=980m R3～R12
- ・(都)滝坂下今井線(Ⅱ期工区) L=560m H22～R1
- ・(都)島上条山宮線 L=600m R3～R10

(3) 事業の妥当性評価

①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)

地域の重要な生活道路であると共に、第二次緊急輸送道路であることから、社会的受益は大きく、極めて公共性は高い。

②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)

当該路線は、都市計画道路であるとともに県道であることから妥当である。

③経済妥当性

※電線共同溝事業であり、費用便益の算出規定がなく、評価に馴染まないため不算出

④事業実施・規模の妥当性

既整備区間に隣接した工区であり、当該箇所の整備により連続する区間の無電柱化が完了となるため妥当な規模である。

⑤整備手法の有効性

現場条件等から採用可能な電線共同溝方式としている。

⑥環境負荷等への配慮

電線類地中化による環境への負荷はない。

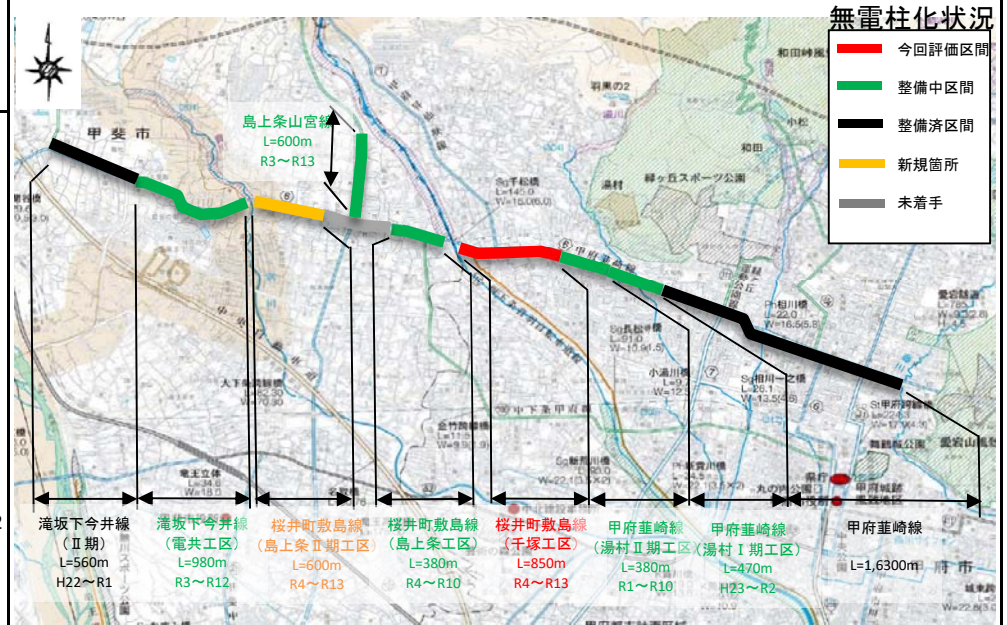
⑦事業計画の熟度

第7期無電柱化推進計画において、事業箇所として電線管理者と協議が行われており熟度は高い。

総合評価

[貢献度ランク: a]

【事業位置図等】

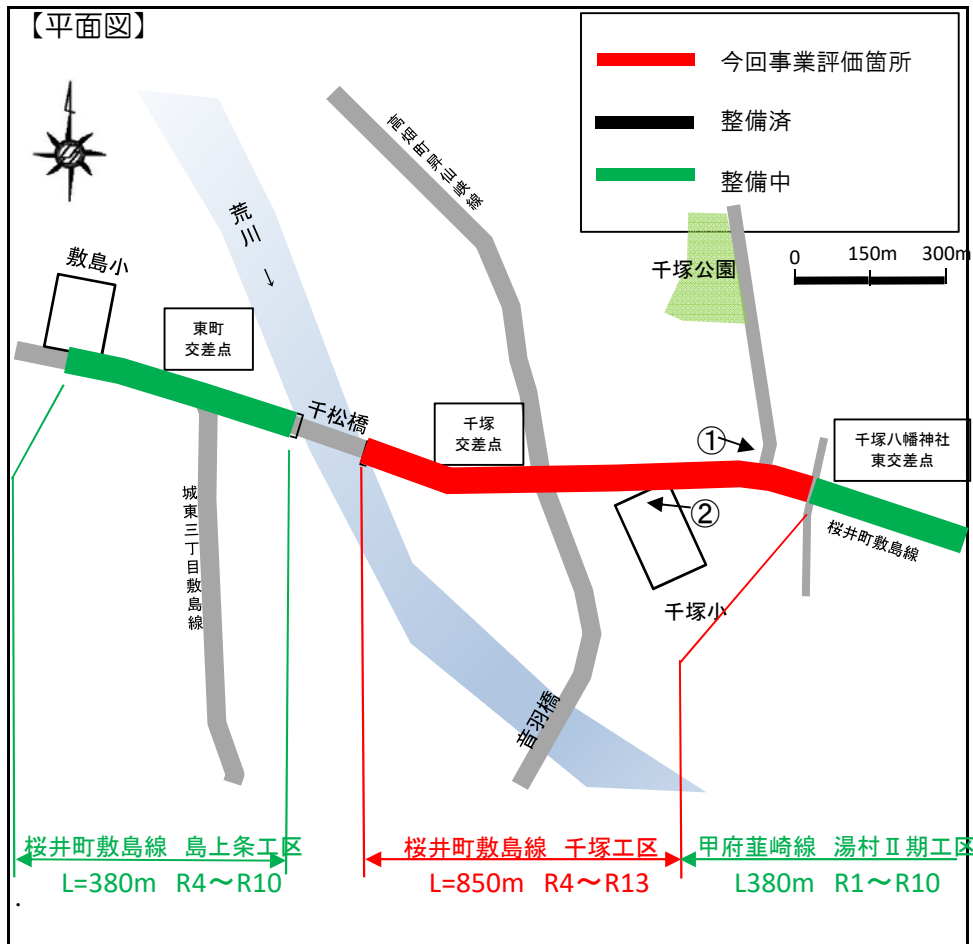


無電柱化状況

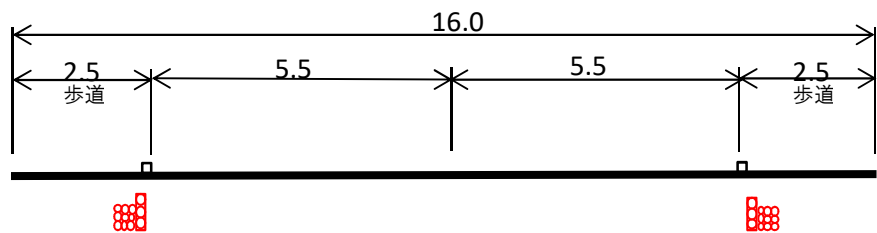
- 今回評価区間
- 整備中区間
- 整備済み区間
- 新規箇所
- 未着手

2. 添付資料シート

【平面図】



【標準横断面図】



【写真①】 電線、電柱の状況



【写真②】 電線、電柱の状況

